

<令和7年度事業活動報告(業務執行状況報告)>

一般財団法人ゴム産業会館

一般財団法人ゴム産業会館は、ゴム産業全般に関する調査研究および情報提供を通じて、ゴム産業ならびに関連産業の振興、発展に寄与することを目的に事業を行っています。また、労働者・経営者双方に対する労働関係の法律相談、近隣住民・企業・労働組合等への会議室貸出などの事業活動を通じ、広く公益的な役割を果たすべく取り組みを進めてまいりました。

令和7年度における主な事業活動は、以下のとおりです。

1. ゴム産業労働災害の調査・情報提供事業

ゴム産業および関連産業における労働災害ゼロを目指し、ゴム連合において発生した労働災害に関する資料の情報提供を受け、ホームページ上で公表しました。

公表にあたっては、労働災害の発生要因について、「物的要因」「管理的要因」「人的要因」の観点から整理された資料を掲載し、ゴム産業に携わる関係者の安全意識の向上と、災害の再発防止に資する情報提供に取り組みました。

2. ゴム産業会館顧問弁護士による「法律相談」

ゴム産業および関連産業に携わる経営者や労働者を対象に、労働関係上のトラブル、コンプライアンス対応、その他法律上の課題に関する相談事業を実施しました。

ゴム産業会館を通じて寄せられた相談内容について、顧問弁護士の見解を確認し、相談者に対して適宜フィードバックを行いました。専門的な法的見解を踏まえた情報提供を行うことで、労働関係上の課題やコンプライアンス対応等に関する相談者の課題解決につなげました。

【令和7年度相談実績】5件

3. ゴム産業会館の会議室の貸出し「施設の貸与」

近隣住民、企業、労働組合等を対象に、ゴム産業会館会議室の無償貸与を行いました。

【令和7年度貸与実績】17件

4. 収益事業の運営

収益事業として、ゴム産業会館1階・2階の事務所および駐車場の賃貸管理運営を行っています。一方で、1階事務所については引き続き遊休状態となっていることから、安定的な事業運営に向け、入居者の募集に取り組んでいます。今後も、施設の維持管理に必要な財源を確保する観点から、収益事業の安定化に向けた取り組みを継続していきます。

【賃貸契約】2階事務所1件（ゴム連合）

【駐車場契約】7台中5台契約

5. 一般財団法人ゴム産業会館のあるべき姿に向けたとりくみ

ゴム産業会館は、建設から40年以上が経過しており、建屋や付属設備等の老朽化に伴う対応事項が多く発生しています。今期は、会館施設および周辺施設の現状を整理し、今後の維持管理に向けた課題について理事会に報告しました。

また、バロンハイツ目白の大規模修繕工事についても、現時点の修繕積立金残高および今後の積立見込みを踏まえると、必用工事費に対して資金が不足する可能性があり、工事内容の縮小・延期、一時金徴収、借入れ等につながる懸念があることを共有しました。

こうした状況を踏まえ、今後のゴム産業会館の存続可能性や、ゴム産業および関連産業にとってより有益な場であり続けるための運営のあり方について、理事会において現状認識の共有を図りました。あわせて、1階事務所の賃借人確保に注力するとともに、必要に応じてゴム連合事務所賃料および駐車場賃料の見直しを含め、収益事業の安定化を一体的に捉え、ゴム産業会館のあるべき姿について継続して検討を進めていきます。

以上